



モリタインテリア工業株式会社の企画部の諸林さんを訪れた。二〇〇六華胥の夢博家具部門で最高賞を獲得した、ウォールナットシリーズ(walnut series)などについてお話を伺うためだ。

モリタインテリア工業(株)は創立五十六年の歴史ある企業。大川でも老舗に入る企業である。従業員数二三〇人。食器棚・飾り棚・収納棚・壁面ユニット・椅子・テーブルのほか、受注製造も行っている。コントラクト事業部では、店舗・オフィス家具から個人邸まで予算に応じた製品を提供している。

社内デザイナー六人を中心に日本国内で企画し、国内工場ですべての製品を製作している。「住空間を充実させるお手伝い出来る家具を作っていきます」がキャッチコピー。

さて、ウォールナットシリーズは、今はやりの言葉を使えば、「もったいない」を地で行くような製品。木材資源の有効利用、環境保全に配慮している。

諸林さんに語ってもらおう。「ウォールナットは、マホガニー、チークと並んで、世界三大銘木と言われていますが、no2グレード(節がある)の材は、これまで処分されてきました。しかし、『もったいない』と思いましたが、それがこのシリーズのきっかけとなりました。」

どんな効果を生んだのだろうか。

「最近素材の良さを生かした家具が少なくなっています。木の暖かみと言うのでしょうか。このシリーズは、ウォールナットが持つ柔らかい木目、深い色合いそして自然の風合いを表現する節目などが味わい深い。」

素材感を醸し出していると思います。」

このシリーズには画期的な別の要素がある。何だろうか？「日本で初めて使用される布です。四層構造を持ち、見た目は皮のようで、皮より柔らかい触感があります。ウレタン製のクッションと共にマイルドな質感はきつと楽しんでもらえるはずです。」

さらに別の特色を挙げれば、それは、シンプルなデザイン。モリタインテリアの製品全体にも言えることでもあるが、ハンドルのような突起物は少なく、極力フラットなデザインとなっている。「デザインをシンプルにするには、まさにデザイン力が求められます。すっきりした中に、他では見られないような、夢あるテイストを含める必要があると感じるからです。」



水まわりやガスコンロなどは各メーカーの対応ができる



日本で初めて使用される布。四層構造を持ち、見た目は皮のようで、皮より柔らかい触感がある

## モリタインテリア工業(株) 企画部次長 諸林 康雄さん



2006華胥の夢博家具部門で最高賞受賞

# 住空間を充実させる お手伝い出来る家具を 作っていきます

誰もが手で触れてみたくなるような、デザインを心がけていきます。」

インタビュウの途中で分かったことであるが、実は諸林さん自身もデザイナー。そしてその他の五人のデザイナーを束ねている。

いつも奨励している点が二つあるそうだ。「一つはデザイナー自身が、『自分がほしくなる製品がなんだろうか?』いつも自問自答することです。そして初めて魅力的な良い製品が作れると思うのです。もう一つは情報収集に熱心であることです。ファッションであれば車

であれ、豊富な情報量の中から、初めて感性が磨かれ、新しい発想が生まれると考えるからです。」

六人中四人は女性デザイナー。シンプルモダンを基本に、女性らしい細やかな配慮の行き届いたデザインもモリタインテリア製品の特徴の一つだ。

さて今後の夢は何だろうか。「二軒の家、一つの部屋のライフスタイルを、まさに実生活に近い形で提案できる事を今目指しています。モリタインテリアには、コントラクト家具部門もあります。ですから、そのノウハウはあります。単に家具、だけでなく、快適なインテリア空間全体を作りあげるとお手伝い

間全体を作りあげるとお手伝い出来ることを願っています。」

来年四月に厳選者に公開されるショールームを見せられてきた。二階部分はすでに完成している。そこはまさにミュージアムのように、異空間にいるかのようだ。光が魅せる美しい彩りと製品の演出は素晴らしい。画期的な新作家具も並んでいる。一階部分は来春リフォームされる。見学されたい方は、営業担当者に申し込むことが出来る。

